

今秋のチカコサロン

9月10日のチカコサロンは盛りだくさんでしたが、いづれも盛況で皆さんに満足していただけた様子でした。

中でも「そばの話とそば打ち試食会」では、打ち立てのそばを塩で食す、という未経験の食べ方でしたが、美味なる事、驚きました。普通のそばではこの味はでないそうです。真野オトウチャン、オカアチャンの心からのおもてなしに感謝いっぱいです。

庄田先生の「人生を自由に生きるための心の使い方」は、心の持ち方によってからだの動きが変わるといふ実技実演を伴って、皆さん感心したり驚いたり、あっというまの2時間でした。

「心のうた、箏とともに」ではいつもの明るい小林陽子さんの唄に始まり、尺八の先生も飛び入りで、思いがけずこのチカコサロンで「春の海」を生で聴けるとは、感動のひとつときでした。

そして、松田先生のお話には、満員札止めを出したほどで、何回拝聴しても心に響く内容は、それぞれ、生きる示唆を受け止められたことと思います。要約した文章では、先生の持ち味を充分お伝えできないのが歯痒いのですが、ここに掲載いたします。



(庄田先生の講演)

「難病から生還する人と

生還しない人の違い」

医学博士 松田育三

私は、もう30年位医者の仕事はしていません。なにをしているかというと、企業の健康管理と、このように頼まれたら全国で話をしています。その合間に病人さんの相談にのっています。

相談に来られる中で一番多いのが、ガンです。

治る人、死んでいく人、いろいろありま

すが、私の感じたことは、えてして末期の人の方が助かっていることです。背水の陣ですね。発想を変えるんです。治るときは2ヶ月で治る。私の経験で一番早かったのは2週間でした。その主治医は「誤診していた」と言いましたね。

現代医学は身体の病気を機械の故障の様に考え、身体を物として見ております。そ

れに対して東洋医学では心身一如として、心と身体の間を重視してきました。

私も多くの癌患者と関わって来て、癌は結果として身体の病気ではあるけれども、患者の人生観、性格、精神的環境がその発病、経過に大きく作用していることを実感してきました。

ではどういう人が良くて、どういう人が駄目なのか。

- ① 絶望した人、これは一番駄目です。もう駄目だと思う人です。
- ② 闘病する人、絶対死にたくない、と色々なことをする。色々な所へ行って治してもらおうとする人は大体駄目ですね。こういう人が一番多いですね。
- ③ 治るというイメージで心平和に過ごす人、これは大体良くなっています。
- ④ 死ぬ時は死ぬ、いつ死ぬかは天が決める。でも「今、私は生きている。余命僅かなら寝てる場合ではない」と働き出す。遣り残した事を今の内にやろう。こういう人は元気になっていくことが多いです。

例として、以前私のところに来た末期ガンの人で、お茶の先生なんですけど、私は「死と直面した人がどんなお手前をするか、最後を知った人はどういう気持ちでお茶をたてるか、それを弟子に伝えなさい」と言いました。その人は茶道に打ちこんだ。そしたらガンが消えていたんですね。ガンと共に生きる一日の重みを感じたんですね。

死というものをどうとらえるか。人間は必ず死ぬ。当然のこととして受け入れ、死を恐れなくなった時、助かるんですね。

死とはどういうことでしょう

人は死ぬときが来れば死ぬのだと医学も認めるべきです。

人はどうしてこんなに死を恐れるのでしょうか。過去の科学が、この世の現象のみを対象として、見えない世界やあの世はないものとして来ました。医学も霊魂の存在を否定し、死ねば何もかも無くなるとして来ました。

死というものを次の世への移動だと思い、当然の事として受け入れることで、心の恐怖感が軽くなります。心が平穏になれば免



疫力が強くなり、結局は健康で永生きすることにつながるのです。

死とはどういうことか。

人間の心、魂とはどういうものか。

あの世はあるのでしょうか。科学や医学はそのことを避けて通ってきました。

無というもの、空はプラスとマイナスが渾然としています。空は宇宙です。このプラスとマイナスの間にユラギが起きる。それが波動です。波動が力になって物になる。振動が重なって物になっているんです。

物をどんどん破壊していくと、究極は素粒子です。消えてなくなると波動になる。

物は「色」としての存在であると同時に単なる波動「空」に化けてしまいます。「色即是空」となるのです。物が存在すると言う常識があやしくなってきたのです。

私達の世界は物としての存在であると同時に波動の存在なのです。その波動のエネルギーが、精神エネルギーなんです。これは物理学者が言ったことです。

この世の存在は全て「物質的存在」であり、同時に「精神的存在」なのです。

私達の周りに存在する鉱物等、例えばこのペンですね、このペンには精神がある様には思えません。一方、生命体には心があります。この差はなんでしょう。ここから

先は私の個人的な考えですが、鉱物や無機質の素粒子の波動はそれぞれが勝手な波動、波長を持っていて統一されていません。そのためまとまった波動エネルギーとならず、精神エネルギーは感じ取れません。

一方、生命体の素粒子は遺伝子の統制下に一定の波形、波長に統一されています。そのためまとまったエネルギーとしてあらわれ、心が発生するのです。

私たちは三次元にいます。そして時間という四次元上を歩いています。この時間をコントロールするのが五次元です。時間をコントロールしているのが心です。

物は色であり、精神は空、色即是空の世界ですね。

この宇宙は「色即是空」「空即是色」で、物質的存在と精神的存在が互いに移行し得る世界なのです。

私達人間は、物質的存在と精神的存在が一体となって心を持った生命体として存在します。精神的存在が物質的存在としての身体より遊離した時、これを「霊」と言います。死ぬということは、物と色が分離することです。

人の死後、遊離した霊は時空間を超えた五次元の存在としてしばらくはコノ世に留まっている様ですが、その内にコノ世の未練を断ち切りアノ世に行きます。これを成仏と言います。

昔の人は49日間、霊はコノ世に留まっているとしました。

いつ迄も成仏しない霊もあります。

この世に怨念等の思いを持ち、いつまでも成仏できない霊を幽霊と言います。

又、自分が死んだことに気付かない霊も成仏しようとはしません。交通事故等で即死した様な人の霊です。事故現場に幽霊が多いのはその為で、これを浮遊霊と言います。

あるいはこの世に残した孫子が心配で成仏しない霊もあります。守護霊となります。阪神大震災の時、夢の中で死んだ祖父に起こされて一命を取りとめた女性がいました。このおじいさんは孫のことが心配で守護霊となっていつも見守っていたのでしょう。

昔、修行を積み立派な覚者となった僧がこの世に留まり庶民を見守りました。それがお地蔵さんです。

こんなことを考えていると、アノ世とコノ世は地続きの様なもので、死と言う事がそれ程大事件でもなく、アノ世ももっと身近に感じる様になりませんか。

生体のみが持つ統制された素粒子の波動を東洋人は「気」と表現しました。気は心のエネルギーであり、同時に身のエネルギーでもあります。気の統制が乱れた時、病氣と言います。

その時は「心」も「身」も共に病みます。東洋医学では「心身一如」とされています。西洋医学では身体だけを対象として、この乱れた波動、壊れた処を取り除いたり、薬で叩いたりします。

これでは限界があることは解かっていただけのでしょう。東洋医学では病んだ気の波動を修正することによって人間を健康にします。その結果として病氣も治っていくのです。

気の修正のためには先ず食事が大切です。「医食同源」と云って病人の波動を修正する様な食べ物を選びます。

病気になるかならないかは、自分の中で命を発展させること、自分の中に宇宙を入れることに関わっています。

人間はそもそも草食動物ですから、菜食は人にとって自然な食べ物で、波動修正してくれます。菜食をしていると、どんどん宇宙が入ってきます。命が発展します。逆に動物食をすると駄目ですね。パーキンソンは人が牛肉を食べたからといわれています。共食いですね。牛に肉骨粉を食べさせたからBSEがおきました。同じことですね。草食動物は、動物性蛋白質を完全に分解することができないのです。

大自然に従い、生きがいを持つこと

最後の最後まで生きがいを持つことが大事です。生きがいとは、人さまのために働くこと、自分の楽しみを追い求めないことです。楽しみというものは、それを到達させると又次を求めたくなります。自分のために働いたら、それが人のために役立っているというのがいいですね。

人のために働くことを、人は善と言いますが、善ではありません。自分は善を施しているという時は、その善は見返りを求めています。自分を犠牲にして人のために、

というのは偽善者です。人さまのためにやっていることが自分の喜びである、というのが本当です。自分を大切にしない人は、人の役には立ちません。

自分というものはこの世で唯一のもので、唯一のものだから、この世で一番大切なものです。

体は鍛えてはいけません。健康のためには歩くことです。鍛えて強くなる必要はありません。勝利者の陰には必ず敗北者がいます。強いものの裏には弱いものがあります。強いもの、弱いものそれぞれの持ち味を生かすことです。負けたと思うとノイローゼになります。不満があるとき、何とか解決しようとする、しかしどうにもならない、そういう時うつになります。

人間は知性と感情がありますが、感情が大事です。人間は感情の動物です。感情のまま一番やりたいことをやるのがいいのです。感情のままやりたいことをやれば人に迷惑をかけるというのは、その感情が駄目なのです。感情は本音です。理知的になると屁理屈をいう。理屈の世界はタテマエです。この感情のプラスとマイナスの集積を性格といいます。

常にイヤなことばかり考えるのがマイナス人間で、ホルモンに関係し、自律神経や免疫にも関係します。人格的にマイナスの出易い人はホルモン、自律神経、免疫が駄目になる。

今の子供は余りにもマイナス要因が多すぎますね。これは親の責任です。親は理屈を言い過ぎる。躰というが、これは躰ではなくオシツケであって、子供は人格を否定されている。躰とはその人（子供）の心理を汲み取ってするものです。人格を否定されている子供はマイナスをいっぱいためて、普通は4～5才で反抗期を迎えるのですが、いまの子はそれも否定されて反抗期がない。反抗期をあきらめて良い子ぶるんです。そういう子はある時爆発します。こどもの犯罪があった時「普段はよい子なのに」というのがそれです。

このマイナスをどうするかですね。マイナスの中にも少しはプラスがある。そこで

笑いましょう。プラス思考というが、人間生きていくのに苦しいこともあります。笑えない時もあります。笑えない時に笑えというのは無理です。マイナスもプラスも全部自分です。私はあえてゼロ思考とっています。この世で唯一無二の自分は大切なもの、だから好きになります。自分が好きと思うとマイナスではなくなりなす。

マイナスで駄目になる時、修行せよという。しかし修行は人を苦しめます。自分が駄目だと思うから修行しようとするんです。努力というのは人を苦しめます。努力する人は大自然と違った路を歩こうとしています。川の流にそって自然に泳ぐと周りの景色が見えます。努力している人は夢中になっているので景色をみません。大事なのは大自然に従って生きることです。

人間は、いつかは死ぬんだ。死というものを認めて、治っても治らなくても良い、今生きていることが幸せだ、そして家族に感謝し、こう感じさせてくれる病気に感謝する、これが一番です。

ガンや難病から生還している人は、自分は治ると信じて天にまかせる人、そして感謝して、生きがいを持つこと、自分を大事にして、人さまに役立つ様に、そういう人たちです。

例え不幸な状態におちいっても、そこから何を学ぶかが大切です。



梅田に移転します

6年余りお世話になったココスビルを離れますのは大変心残りなのですが、12月末、梅田に移転することになりました。

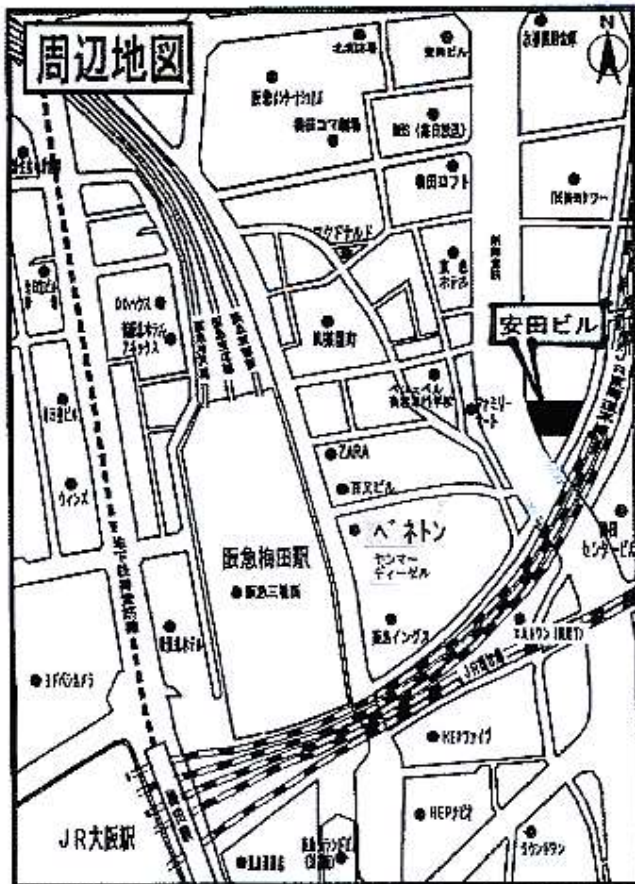
ようやく菜食整腸健康法の良さが、世間一般に認められるようになり、連日予約をお断りするほどご来場の方が増え、非常に喜ばしいのですが、一方、送迎が困難になってまいりました。地方から来られる方も増え、お迎えの場所が判らなかつたり、送迎時間等、ご不便をおかけすることが多くなってまいりました。

このたび、移転します新しい場所は、JR、阪急、阪神、地下鉄、いずれからも徒歩圏内という便利な所です。

ココスビルの上林正樹様には一方ならぬお世話になり、苦しい時に助けていただき、心から感謝しております。上林様のご支援があったからこそ、今日があるのです。この感謝の気持ちを忘れず、新しい場所で、大勢の方々にご利用いただき、来て良かったと喜んでいただける場づくりを目指していきたいと思います。

12月25日（月）から新しい場所です

新住所 大阪市北区鶴野町1-3 安田ビル403号
電話 06-4802-6880 (エヌエイチアカデミー)
06-4802-6882 (NPO法人ネイティブヘルス)
FAX 06-4802-6881 (共通)



阪急・JR・地下鉄利用で 京阪神間のフットワークが充実

| | | |
|---------|-----------|----|
| 阪急 | 「梅田駅」より徒歩 | 4分 |
| 地下鉄御堂筋線 | 「梅田駅」より徒歩 | 6分 |
| JR | 「大阪駅」より徒歩 | 7分 |

12月 4日(月) 14:30-16:00

田井松華氏「俳画で年賀状」

会員 1000円 (道具持参は無料)

一般 2000円

12月 9日(土) 14:30-16:00

佐々木聡子・有紀氏「クリスマスコンサート」

会員 無料

母娘ピアノ連弾

一般 1000円

12月 13日(水) 14:30-16:30

皆川容子氏「ヘルシークッキング」

会員 1000円

火を使わない料理教室

一般 2000円

12月 16日(土) 14:30-16:00

高橋佐喜子氏「ヨーガ教室」

会員 1000円

誰にでもできるヨーガ

一般 2000円

<講師紹介>

佐々木聡子(ささき さとこ)

桐明学園大学短期大学部音楽科ピアノ専攻卒業

カワイ音楽教室ピアノ講師、桐明学園大学付属子供のための音楽教室講師を経て、現在大阪国際大学短期大学部幼児教育科非常勤講師。

ソロ、伴奏、室内楽の他、学校公演などにも数多く出演

佐々木有紀(ささき ゆうき) 中学1年生

5歳の誕生日に楽譜がほしいと母にねだったのがきっかけで、ピアノを習い始める。想像していたより、かなりキツイ練習に耐え(?)昨年5月には、佐々木宏(父)の指揮する八尾フィルハーモニー交響楽団と、モーツァルトのピアノコンチェルトを協演。練習嫌いの本番好きではあるが、将来の夢はピアニストとか・・・現在、舟曳千智先生に師事。

田井松華(たい しょうか)

東大阪市生 豊中市在住公民館の

講座がキッカケで俳画を始める

その後本格的に藪本積穂氏(NHK

俳画教室講師)に師事

主に丹青堂俳画教室で学ぶ



田井松華様母上石田澄子様画

指導員養成講座の卒業生は現在21名、研修中は23名います。
 卒業生は、施術所を開設したり、出張施術や、エヌエイチアカデミーで指導員として勤務するなど、多方面で活動
 しています。卒業生（指導者）の活動をご紹介します。

**この健康法は
すばらしい!**



(京都方面) 京阪沿線です。




萱島 — ミニバス(タウンクル) — 「黒原旭町」すぐ前

元氣堂 (三浦整骨院)

(大阪方面) 寝屋川市高柳7-10-16
 (摂津水都信用金庫前)
 TEL・FAX 072-838-5374

ヒーリングルーム
SANO 《サーノ》



大阪市旭区にて腸もみや
 アロママッサージを行う女性
 専用の自宅サロンです
 会員の紹介であれば出張も致します

施術者 ^{カウ}加納 ^{マコ} 紋子

地下鉄谷町線(守口) 各徒歩
 太子橋今市

京阪本線 (土居) 10分


連絡先 090-1909-9903
x-ivaya-pipopipo@ezweb.ne.jp

元氣の種 健康の種
 を蒔く


野草の種

酵素風呂 手技療法
 整腸マッサージ

あなたの種が芽吹き
 ますように




大阪市西淀川区野里
 1-7-1 野里ハイツ1F
 06-6471-1123



腸のリハビリで
 生き生き生きる

お出逢いお待ちしております。

山喜代美 

山喜代美 ^{やま} ^{きよ} ^み

HP. 090-4277-7204
 FAX 06-6623-3268

八尾の整腸マッサージ店
なちゆるる らいふ
Natural life
自然で健康な生活のお手伝い

— お店案内 —

料金: 40分4000円(回数券割引有)
住所: 八尾市堤町1-48-25(駐車場有)
近鉄山本駅から徒歩15分
完全予約制: TEL **072-922-5439**
整腸法指導員 **新居 敏子**



地下鉄 北山台に施術所(癒の空間)
サロンド、ペコをオープンします。今は準備中
本格的始動は年明け、19年1月10日からです。
予約、受付は今年12月から受付ります。
今年中に施術院御希望のネ、及りますら御伴出
下さい。御相談に依います。 毛利成子
06-6849-0966。(FAX同じ) FAXにて「けいけい」
御連絡いただけます。直接TELでももちろんOKです。

※休業について

移転のため 12月22日(金)休業いたします(12月25日より梅田にて営業します。)
年末年始 12月29日(金)～1月4日(木)休業いたします。

※マイナスイオン温浴について

移転に伴い、マイナスイオン温浴はなくなります。現在お持ちのサウナ回数券は12月20日(水)までにお使いください。それ以降お手元に残りました回数券につきましては、実費にてお引取りさせていただきます。よろしくご了承ください。

あ と が き

街ではクリスマスや迎春でにぎやかに、あわただしくなっております。
当ネイティブヘルスでも急に移転が決まり、慌てふためいております。
そんなこんなで会報の発行が遅れてしまいました。12月のチカコサロンの予定は、すでに会員の皆さまにはお知らせいたしましたが、1月、2月の予定が決まっておりません。決まり次第お知らせいたします。チカコサロンの参加者も増え、多い時は満車のため送迎をお断りするなどご迷惑をおかけいたしました。新しい場所では、どの交通機関からも徒歩圏内ですので、送迎の時間などを気にすることなく、ご自由にいらっしゃることができるかと思っております。新しいチカコサロンにご期待ください。

お風邪などお召しになりませぬよう、良い新年をお迎えください。 y m